ミツバエンジンスターター専用オプション

イモビバイパスアダプター (IBA-01)

取付・取扱説明書

この製品は、ミツバGシステム搭載エンジンスターターシリーズと併用する事で、一部の車種を除くイモビライザー（盗難防止装置）搭載車両にエンジンスターターを取付ける事が出来るようになります。必ず「適応車種一覧表」に記載されている車種である事を確認をしてください。

このたびは、ミツバ「イモビバイパスアダプター」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。この取付・取扱説明書は、製品の正しい使い方や取付け方、使用上の注意について記載しております。取付・取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく製品を取付け、お使いください。また、取付・取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように大切に保管してください。

1.安全上の注意事項

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。記号と意味は次のようになっております。

⚠注 意	取扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

2.取付け前の確認事項

● この製品の取付けには、イモビライザー解除可能なスペアキーが1個必要となりますので、あらかじめ用意ください。スペアキーのお求めは、お近くのカーディーラーへご相談ください。
※ お求めの際に、車検証及びお手持ちのスペアキーの提示を求められる場合があります。

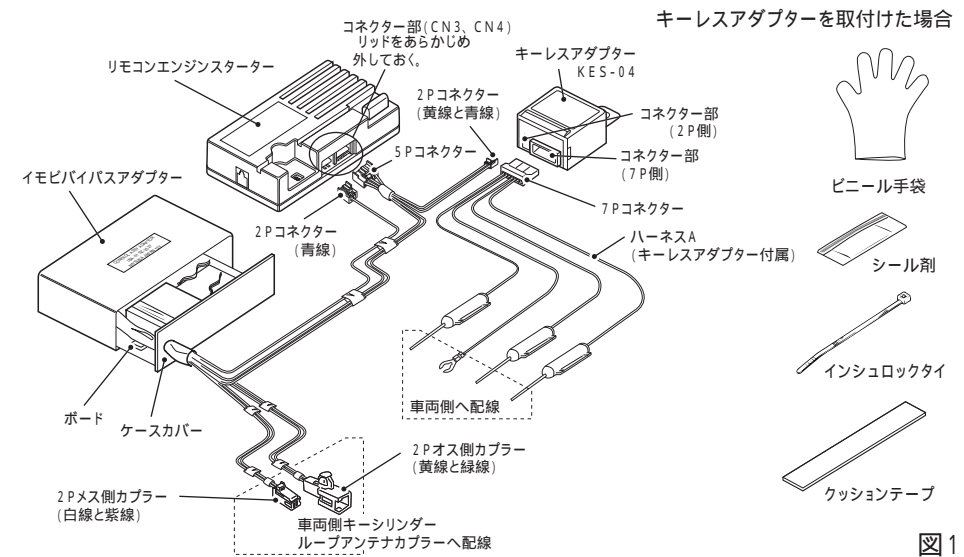
⚠注 意	・ 純正キーレス機能付きのマスターキーを代用する事はおやめください。キーに内蔵された電池の液漏れ等により、マスターキーや製品の故障につながる恐れがあります。 ・ イモビライザー以外の盗難防止装置や警報機を装備した車両へ取付ける場合には、それらを解除（またはOFF）した状態でエンジンスターターをご使用ください。エンジンスターター始動時に、誤作動する恐れがあります。 ・ 製品の分解や改造は絶対に行わないでください。製品や車両を損傷したり事故の恐れがあります。

● この製品を取付け後に、万一盗難に会われても、弊社では一切保証は致しません。あらかじめご了承ください。
● この製品を取付けた場合、エンジンスターターでエンジン駆動中のみイモビライザー機能を一時的に解除します。一部の車両保険によっては、盗難割引等の契約に支障をきたす場合もありますので、ご契約された保険会社へ必ず確認をしてください。
● Gシステムを搭載していないミツバエンジンスターター「EGS-M1」「EGS-S1」「EGS-G1」への取付けは出来ません。
● この製品を取付けた場合、キーレスアダプターを除く他のGシステム製品は取付けできません。
● この製品の取付けには専門知識が必要となりますので、取付専門業者へ依頼してください。

3.使用工具

ドライバー・ニッパー・カッター・ヤスリ・ペンチ・ビニールテープ等

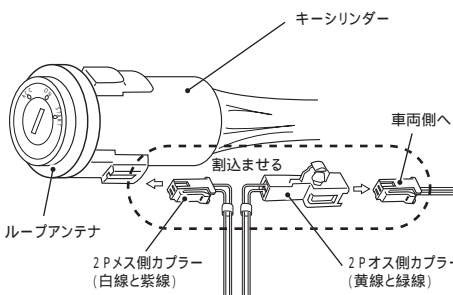
4.取付方法

図1

（1） エンジンスターター本体のコネクター部（CN3、CN4）に付いているリッドを取外し、図1を参考にスターターとイモビアダプターを接続します。
CN3へ5Pコネクターを接続し、CN4へ2Pコネクター（青線1本）を接続してください。
※ 2Pコネクターは2個あります。（割り込み用2Pカプラーも2個あります。…計4個）
さらにキーレスアダプターを接続される場合は（2）へお進みください。
キーレスアダプターを接続しない場合、黄線と緑線の2Pコネクターは接続不要です。
その場合は（3）車両とイモビパイパスアダプターとの接続へ進んでください。

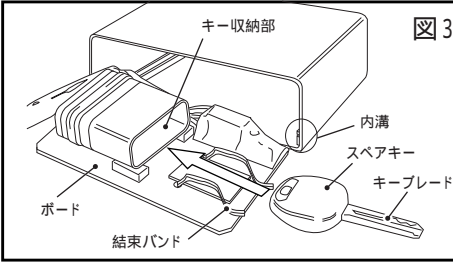
⚠注 意	・ 取付け済みエンジンスターター本体のリッドを外す際は、必ずパワースイッチを切って8Pケーブルを取外してからリッドを外してください。そのまま作業しますと、電源ショート等により、故障したり発火したりする恐れがあります。 ・ リッドの取外しは、精密ドライバー等で端からはがすように行ってください。その際にケガをしないように十分注意してください。 ・ キーレスアダプターを接続しない場合は、2Pコネクター（黄線と青線）をビニールテープ等で絶縁処理してください。絶縁処理を行わないと、車両の金属部分と接触し製品を損傷・故障させる恐れがあります。

（2） キーレスアダプターを接続します。（Gシステム接続ケーブル[別売]は不要です。）図1を参考にエンジンスターターとキーレスアダプターを接続します。
※ この時、キーレスアダプター付属のハーネスBは使用しません。
※ キーレスアダプターと車両との接続はキーレスアダプターの取扱説明書をご覧ください。

（3） 車両とイモビパイパスアダプターとの接続
図2を参考に車両側イモビライザーのループアンテナから出ている2Pカプラー部を一旦外し、そこにイモビアダプターの2Pカプラーのオス側（黄線と緑線）とメス側（白線と紫線）を割り込ませます。
※ ループアンテナのカプラーは、キーシリンダー本体付近にあります。

図2

（5） イモビバイパスアダプターケースからボードを取出し、キー収納部へスペアキーを挿入します。図3の様にスペアキーを挿入し、ボードから出ている結束バンドでキーブレード部を仮固定してから、ケースの内溝にあわせてボードを入れてください。

❶この時、ケースカバーはまだはめないでください。

図3

⚠注 意	ボードを落としたり、濡らしたりしないようにしてください。また、ゴミ等が付着しないようボードの取扱には十分注意してください。落としたり、濡らしたりすると製品や車両を損傷、故障させる恐れがあります。

（6） エンジンスターターを車両に取付けて「オートマチック車の登録」作業まで行います。

❶この時、必ず運転席ドアスイッチ配線も行ってください。

詳しくはエンジンスターターの取付・取扱説明書をよく読んで作業してください。

⚠注 意	運転席ドアスイッチ配線を必ず行い、エンジンスターターで駆動させた場合は、ドアを開けることで一旦エンジンが停止する様にしてください。この配線を行わないと、車両側イモビライザー機能が正常に動作しない事により、盗難や事故の恐れがあります。

（7） エンジンスターターが正しく動作する事を確認します。
必ず周囲の安全を確認し、ドアを閉めた状態で動作を確認してください。
リモコンでエンジン始動を行ってから、ドアを開ける事でエンジンが停止する事も確認してください。
※ キーレスアダプターを接続したした場合は、リモコンのACCCスイッチ操作で、ドアロックのロックとアンロックが出来る事も確認してください。
※ ACCスイッチ動作及び、エンジンスターター動作の詳しい確認方法については、エンジンスターターの取付・取扱説明書をご覧ください。
※ リモコンのACCスイッチは押す毎にロック／アンロック信号を交互に発信します。

⚠注 意	リモコンにてドアロックを操作した場合は、その後、必ずドアがロックされたことを確認してください。ドアロックを忘れますと、盗難等、思わぬ事故に会う恐れがあります

（8） イモビバイパスアダプターケースのボードからスペアキーを取出し、キーブレード部（キーシリンダーに差し込む部分）に刻まれた溝の一部をヤスリで削るなど、キーとして使用出来なくなるようにしてください。
※ キーブレード溝を一部加工する事で、イモビバイパスアダプター内蔵のスペアキーを悪用した盗難を未然に防止できます。
※ セメダイン社製金属用エポキシパテ等を別途ご用意頂き、キーブレード部の溝をうめる事で、より一層セキュリティ性を確保する事ができます。

⚠注 意	スペアキーのブレード溝加工を行う場合は、キーグリップ部（樹脂で覆われた部分）を万力等で固定したり、著しい衝撃等を与えないでください。内蔵されているイモビライザーICが損傷し、イモビライザーを解除できなくなる恐れがあります。

（9） スペアキーのキーグリップ部に付属のクッションテープを図4のように巻き付けてから、ボードのキー収納部へ挿入します。この時、キー収納部より少し大き目（1～2mm程度）に巻き付けます。

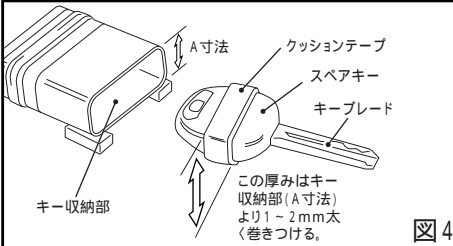
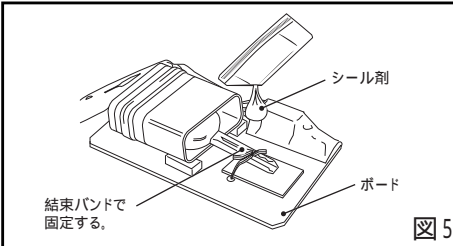
図4

（10） ボードの結束バンドで再度固定し、その上から図5のように付属のシール剤を塗布します。
※ 塗布する時は、付属のビニール手袋を使用し、シール剤が皮膚や衣類に付着しないよう注意して作業をしてください。
※ シール剤は温度等の条件にもよりますが、完全硬化するまでに約24時間程度かかります。

図5

（11） シール剤を塗布したボードをケースに挿入し、ケースカバーをはめ込みます。
ケースカバーは、ケースのツメで固定されるまではめてください。

（12） エンジンスターターとイモビバイパスアダプターを設置します。
エンジンスターターの設置と配線のまとめ方は、エンジンスターターの取付・取扱説明書をご覧ください。
イモビバイパスアダプターの本体は、付属のインシュロックタイ等を使用して、ダッシュボード内等の見えない場所へ設置してください。
キーレスアダプター取付け時は、キーレスアダプターの取扱説明書をご覧ください。

⚠注 意	・ イモビバイパスアダプターの本体部及び配線類はオーディオや無線機及びエンジンスターター本体（アンテナUNIT含む）等から出来るだけ離れた場所に設置してください。これらの近くに設置すると、イモビライザー機能や解除機能が正常動作しない恐れがあります。 ・ イモビバイパスアダプターの本体部及び配線類は、高温になる場所や被水しやすいような場所には設置しないでください。（ヒーター吹き出し口、フロアマット下、足もと等）製品を損傷、故障させる恐れがあります。 ・ シール剤をはがしてスペアキーを再使用しないでください。キーシリンダー部やイモビバイパスアダプターを損傷、故障させる恐れがあります。

（13） 配線をまとめます。
配線コードや、ケーブル類が運転の妨げとならないようにきちんと結束・固定し、外したアンダーカバーや内張り等を元に戻してください。

⚠注 意	ケーブルが運転の妨げになると運転操作を誤ったり、事故の原因となる恐れがあります。きちんと結束・固定してください。

以上で終了です。